

授業参観 13:30~13:50

### 第3回 飯田小学校運営協議会

令和6年2月9日

13:50~15:00

家庭科室

開会 開催要件（委員の過半数の出席）確認 <司会：教頭、記録：CSディレクター>

1 会長挨拶

2 校長挨拶

3 議長の選出 <出席した委員の互選>

4 前回会議録確認

5 熟議 <司会：議長>

(1) 学校関係者評価（「いじめ防止等のための基本的な方針について」含む）

(2) 学校運営協議会の自己評価

・学校運営協議会の取組についての振り返り

(3) 来年度の学校運営の基本方針の説明

(4) 夢育やらまいかCS加算分の報告

(5) 各協議会独自の協議内容

6 報告 <司会：教頭、記録：CSディレクター>

・学校支援コーディネーターから

7 連絡

(1) 次年度第1回 令和6年5月14日（火）13:30~15:00 会場：家庭科室

(2) 会長・副会長の確認

(3) 次回の議長の選出

(4) 次回の熟議内容の確認

(5) その他 さくら連絡網登録等（閉会后）

閉会

# 参加者名簿

## < 委員 >

会長	杉山 邦司	すぎやま くにじ
副会長	露木里江子	つゆき りえこ
委員	森 峯男	もり みねお
委員	小野 逸子	おの いつこ
委員	白井 竜之	しらい たつゆき
委員	鈴木美枝子	すずき みえこ
委員	嶋口 雅啓	しまぐち まさひろ
委員	鈴木 大輔	すずき だいすけ

## < オブザーバー >

東部協働センター所長	村松 拓也	むらまつ たくや
------------	-------	----------

## < 学校 >

校長	生熊 周	いくま しゅう
教頭	町田 全広	まちだ まさひろ
主幹教諭	森島 広人	もりしま ひろと
CS担当	太田 正之	おおた まさゆき
CSディレクター	小林 知美	こばやし ともみ

## < 教育委員会 >

教育総務課 指導主事	鈴木 陽子	すずき ようこ
------------	-------	---------

# 学校運営協議会 年間計画

R5年度	日 時	内 容
第1回	5月16日(火) 13:30~15:00	・学校運営の基本方針・いじめ防止対策基本方針 ・夢育やらまいか事業
第2回	10月23日(月) 13:30~15:00	・学校運営の課題と改善策 ・特色ある学校づくり ・支援策
第3回	2月9日(金) 13:30~15:00	・学校関係者評価 ・学校運営協議会自己評価 ・次年度学校運営の基本方針

## R6年度予定

第1回	5月14日(火) 13:30~15:00	・学校運営の基本方針・いじめ防止対策基本方針 ・夢育やらまいか事業
第2回	10月28日(月) 13:30~15:00	・学校運営の課題と改善策 ・特色ある学校づくり ・支援策
第3回	2月7日(金) 13:30~15:00	・学校関係者評価 ・学校運営協議会自己評価 ・次年度学校運営の基本方針

※諸事情により変更されることもありますので、その都度御連絡いたします。

令和5年度 第2回 飯田小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年10月23日（月） 13時50分から15時00分まで
- 2 開催場所 飯田小学校 家庭科室
- 3 出席委員 杉山邦司、露木里江子、森峯男、小野逸子、白井竜之、鈴木美枝子、  
嶋口雅啓、鈴木大輔
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 生熊周（校長）、町田全広（教頭）、小林知美（CSディレクター）
- 6 傍 聴 者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 小林知美
- 8 議長の選出

司会から議長の選出について委員に意見を求めたところ、鈴木大輔委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議無くこれを承認した。

9 協議事項

- (1) 学校運営の課題と改善策について
- (2) 特色ある学校づくり、支援策について

10 会議記録

司会の教頭から、委員総数8人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校運営の課題と改善策について

教頭から資料に基づき、学校運営の課題と改善策についての説明があり、グループに別れて協議し、その後、全体で意見を共有し合った。委員からは、以下の発言があった。

Aグループ（杉山邦司委員、小野逸子委員、白井竜之委員、嶋口雅啓委員）

- ・ あいさつは、親からしないと子どももしない。コロナ禍の影響か、外で声を出す習慣（あいさつ）が身に付いていない。あいさつは、必要。親からしてほしい。
- ・ PTAのあいさつ運動で、門に人がたくさん並んでいると、校門付近はせまく、登校してくる子どもたちが通りにくい。
- ・ 中学生は、学校全体の雰囲気や部活のためか、あいさつがしっかりできる。上級生がやっているからか、下級生もできている。
- ・ あいさつ運動する人が止まっていれば、あいさつもしやすい。また、こちら側から毎日あいさつしていれば、してくれるようになると思う。

（Aグループ代表 嶋口委員が発表）

- ・ 以前PTAで、中学生があいさつ運動に来てくれていた。（大輔委員）

Bグループ（露木里江子委員、森峯男委員、鈴木美枝子委員、鈴木大輔委員）

- ・ 地域でのあいさつを返すのは、2割ほど。1、2年はあいさつが少ない。小さい子は、知っている人にはするが、知らない人にはしない。元気にあいさつするとまちが明るくなる。
- ・ 大きい人（高学年）を見て、続けてやっていけば小さい子もあいさつ出来るようになると思う。
- ・ あいさつをしても無視されると、冷たい地区という印象になってしまう。コロナ禍の3年の影響は大きい。あいさつする側の大人も、笑顔で続けていくことが大切。

（グループ代表 露木委員）

(2) 特色ある学校づくり、支援策について

教頭から資料に基づき、特色ある学校づくり、支援策についての説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ あいさつ運動については、PTAの立つポイント（門、昇降口、廊下、階段付近等）を分けてすることができるかPTAで確認してみる。（嶋口委員）
- ・ 子供たちが安心・安全に登下校し、地域の人にもあいさつができるようにするために、浜松市で行っている『子ども見守りボランティア』を活用したらどうか。まず学校運営協議会の委員が登録し、安心してあいさつできる人と印象づけていく。（大輔委員）
- ・ 安心・安全な学校のためには、登下校時の事故の危険をなくすことも大切。昇降口付近には池があり子供が登下校で利用する通路がとてまもなく歩いている。更に送迎で放課後デイサービス等の車の出入りがあり、子供たちは、車と接触しそうな通路を歩いている。このことについては、自治会連合会で承諾を取り、回覧板で池をなくしてもよいかと回してもらった。特に反対意見はなかったので、市にはぜひ池の整備をしてほしい。

（露木委員）

その他報告事項等

教頭より、学校運営協議会の自己評価について説明があった。また、第3回会議は、令和6年2月9日（金）13時30分から家庭科室で開催する予定である旨の報告があった。

# 令和5年度 飯田小学校 学校評価

## I 令和5年度の本校の取組み

やさしい子

自分から学ぶ子

たくましい子

<p>誰にでも笑顔で接し、優しく思いやりのある子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニケーション能力の育成             <ul style="list-style-type: none"> <li>・思いを言葉で表現する指導</li> <li>・「やはた行動」の定着</li> </ul> </li> <li>○思いやりの心の育成             <ul style="list-style-type: none"> <li>・温かな人間関係づくり・いじめ早期発見と解決</li> </ul> </li> <li>○規範意識の育成             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「飯田小学校の1日の学校生活」の定着</li> <li>・道徳教育の充実</li> </ul> </li> </ul>	<p>人の話をよく聴き、粘り強く考え、学び合う子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「教育の情報化」の推進             <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSノートはままつの活用</li> <li>・教科指導におけるITC活用</li> </ul> </li> <li>○子供が夢中になる授業             <ul style="list-style-type: none"> <li>・粘り強く考え、学びを深める子供の育成に向けた授業改善</li> <li>・地域人材を活用した、将来に繋がる学び</li> </ul> </li> <li>○基礎基本の定着             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習習慣作りの指導</li> <li>・「粘り強く考える子の約束」</li> </ul> </li> </ul>	<p>たくましい心と体を持ち、進んで頑張る子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○安全指導の充実             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いを言葉で表現する</li> <li>・校内事故減少への取り組み</li> </ul> </li> <li>○夢を追う活動の推進             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「夢を追う先輩」について学ぶ機会の充実</li> <li>・夢に関わる集会の充実</li> </ul> </li> <li>○自らを高める活動の推進             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己記録の向上を目指す行事や活動の推進</li> <li>・生涯スポーツの入り口として運動に親しむ体制づくり</li> </ul> </li> </ul>
---	--	--

## II 自己評価

			肯定評価の割合			令和4年度		
			児童	保護者	教員	児童	保護者	教員
やさしい子	1	あいさつの習慣が身に付いている。	80.7%	88.6%	62.0%	81.6%	88.3%	75.0%
	2	正しい言葉遣いで生活している。	78.4%	75.2%	68.0%	82.1%	76.7%	78.6%
	3	生命を大切に、思いやりをもって人に接している。	91.1%	97.1%	93.0%	94.8%	96.4%	100.0%
自ら学ぶ子	1	人の話をよく聴いて粘り強く考えたり、自分の意見や考えを話したりしている。	84.3%	80.7%	84.0%	88.0%	74.9%	89.3%
	2	授業を通して「わかった」「できた」「成長した」と感じている。	86.2%	87.1%	96.0%	89.5%	86.8%	96.4%
	3	学校で勉強したことが、自分の将来に役に立っていると考えている。	88.8%	70.2%	87.0%	90.5%	70.0%	78.6%
たくましい子	1	夢やめあてをもち、進んで活動に取り組んでいる。	89.8%	71.5%	90.0%	91.6%	73.7%	96.4%
	2	校内で安全に過ごしたり、交通ルールを守ったりしている。	95.8%	95.4%	81.0%	94.8%	96.8%	89.3%
	3	基本的な生活習慣が身についている。	86.4%	88.2%	90.0%	85.2%	89.3%	100.0%

## III 分析・考察

- ・校内で挨拶をすると返すことができる児童は増えてきたが、自分から進んで挨拶をする児童は少ない。決められた期間（あいさつ月間）になると、元気な挨拶をする児童が増える。
- ・正しい言葉遣いができず、ちょっとした言葉のすれ違いなどから、友達関係を崩してしまうことがある。
- ・夢をもつことや夢に向かって努力することの大切さは、多くの児童に浸透している。また、学校で学んだことが自分の将来に役に立っていると感じている児童も多い。一方保護者は、あまり学校で学んだことが役に立っているとは思えない。子供が夢やめあてをもって進んで活動に取り組んでいるとは思っていないようである。ホームページや学校・学年だよりなどで、もっと学校の活動の様子を広めていく必要がある。

## ☆ 今後の改善方策

- ・子供たち自身に、気持ちのよいあいさつや正しい言葉遣いを意識させるうえで、委員会活動のひとつとして「あいさつキャンペーン」や「ふわふわ言葉キャンペーン」などを行う。
- ・地域の大人ともっと触れ合う機会を増やしていきたい。
- ・保護者や地域の方にもっと学校に来ていただき、子供たちの活動や本校独自の「夢を飛ばそう集会」や「夢を語ろう集会」などを見て子供たちの夢や活動等を分かってもらおう。

## 浜松市教育総合計画 実態調査より（いじめ関連）

教員	市全体 肯定的回答	飯田小 肯定的回答
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと指導している	99.6%	100%
学校のいじめ防止基本方針を理解し、それに沿って対応するよう心掛けています	99.5%	100%
道徳科の授業等で「はまつマナー」を活用して、命を大切にする心や規範意識について指導している	79.9%	92.9%
子供や保護者からのいじめ等の相談や気になる表れに対して、一人で抱え込まず、他の教職員と情報共有しながら対応している	98.8%	100%

### 5年生児童

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	95.7%	97.9%
いじめなど困ったことがあった時、先生に相談しやすいですか	62.7%	77.7%
先生はあなたのよいところをみとめてくれていると思いますか	86.4%	95.7%
相談した時に先生は真剣に話を聞いてくれますか	93.4%	97.9%

### 5年生保護者

いじめはどんな理由でもいけないことだと、お子さんに話をしていますか	97.9%	91.8%
学校のいじめ防止基本方針を知っていますか	46.0%	30.6%
学校のいじめ防止方針等の取組（いじめについて考える授業や集会・いじめアンケートなど）を知っていますか	46.0%	81.6%

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(飯田小)学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- ・ 地域住民や保護者が行事等に参加する機会を少しずつ増やし、より多くの細かい事まで先生方と児童達の状況を把握して、学校教育目標の達成に向けて協力していく。
- ・ 教員だけでは対応しきれない課題を具体的に挙げていき、地域、家庭、学校で実際に協力ができる枠組みやシステムを考えて実行していく。
- ・ 学校支援のボランティアについて、実際に各方面へ働きかけたり、人材の発掘を行ったりし、できることから取り組んでいく。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・ 学校教育目標や最近の学校の様子について話を聞き、挨拶ができる子、安心安全な環境づくりについて重点的に熟議することができた。
- ・ 気持ちのよい挨拶が自主的に行える児童を育てることについて、具体的な説明を受けながら議論を進め、高学年の児童が積極的かつ自然に行うことで、低中学年の児童も挨拶をして、良い循環になることが理想であることを確認できた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・ 「笑顔があふれる環境で、明るく挨拶を交わす学校」という目指す学校像を受け、挨拶について熟議を進めた。その中で、校内で明るく挨拶ができるが、校外での挨拶は少ないという意見が多くあり、社会情勢等難しい面もあるが、地域の人が登下校時に声を掛けることが当たり前になるために必要なことについて議論した。
- ・ まずは、協議会の委員から自分の生活に即した方法で、子供たちを見守る機会を増やしていくことについて、確認することができた。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・ ホームページ等での情報発信はしているが、協議内容が広い範囲に渡って伝わっているとは感じられない。児童に関わる地域の活動やPTAと運営協議会との具体的な連携について考えていきたい。
- ・ 個人情報の取扱いに気をつけながら、協議結果の情報発信について考えていきたい。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- ・ コロナ後、まずは地域の大人たちから明るい笑顔、元気なあいさつを行い、子供たちにとって、地域に知っている顔がたくさんあること、安心して生活できることを定着させたい。
- ・ 実際にどのような活動ができるのか、具体的な内容や役割等考えるところまで進めていきたい。

# R6 飯田小学校の教育（概要）

## 1 学校教育目標

「夢に向かって 命をかがやかせる子」

～「なりたい自分」を思い描き 「今すべきこと」を実践する～

## 2 目指す子供像

○やさしい子（感性）

だれにでも笑顔で接し、やさしく、思いやりのある子

○自分から学ぶ子（知性）

人の話をよく聴き、進んで考え、学び合う子

○たくましい子（心身）

たくましい心と体を持ち、粘り強くがんばる子



## 3 教育の重点と基盤

◎「その子にあった学校生活環境づくり」を推進します。

- ・夢を飛ばそう集会、夢を語ろう集会等、夢に向かう活動を充実させます。
- ・「飯田小いじめ防止基本方針」を推進します。
- ・学習における ICT の活用を進めます。

◎「信頼される学校、信頼される教職員」であり続けます。

- ・専門性や強みを生かした学年・学校チーム体制で指導を行います。
- ・確かな児童理解に基づく、温かな言葉かけと寄り添いを行います。
- ・振り返りカードや電話等で家庭との連絡を密にしていきます。

◎「家庭・地域との協働」を大切にします。

- ・飯田小学校コミュニティスクールとして、地域とともにある学校づくりを目指します。
- ・教員、SC<sup>1</sup>、SSW<sup>2</sup>等を用いて相談体制を充実させていきます。
- ・東部中学区がめざす子供像「自分の夢や目標に挑戦し続ける」を共有します。

1 スクール・カウンセラー

2 スクール・ソーシャル・ワーカー



(様式1)

令和5年5月17日

浜松市立飯田小学校  
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会  
代表 白井 竜之 様

浜松市立飯田小学校運営協議会  
会長 杉山 邦司

### 夢育やらまいか事業に対する意見書(案)

令和4年5月16日に開催した学校運営協議会において、下記の意見を議決しましたので報告します。

#### 記

#### 1 学校運営の基本方針を具現化するための意見

- ① 夢を追う活動を充実させるべきである。
  - ⇒ 「夢を飛ばそう集会」や「夢を語ろう集会」などを企画し、子供たちの夢を育てていく。自分の夢を託した紙飛行機を飛ばしたり、夢を追いかけている人を講師に招いて話を聴いたりし、夢に対する気持ちを高めていく。
  - ⇒ ロボットクラブの活動では、大学関係者の方を講師として、専門的な内容を指導してもらうことで、子供たちの活動への関心や意欲を高め、知識や技能を習得する。
- ② 地域住民や保護者が行事等に関わり、子供たちの体験的な活動等を充実させるべきである。
  - ⇒ クラブ活動や米作り、地域の偉人や歴史等を学習する活動において、地域の講師や保護者が関わる体験的な活動を取り入れ、地域への愛着や誇りをもてるようにする。

(様式2)

令和6年2月13日

浜松市教育委員会 教育総務課  
学校・地域連携担当課長

浜松市立飯田小学校  
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会  
代表 白井 竜之

### 夢育やらまいか事業（CS加算分）報告書

夢育やらまいか事業のCS加算分の用途等について、下記のとおり報告します。

#### 記

#### 1 学校運営協議会からの意見

別紙「夢育やらまいか事業に対する意見書」のとおり

#### 2 意見に基づき実施した活動等

No.	記号	事業内容	具体的活動内容
1	ア	心の教育の充実	未来授業
2	ア	情報教育の充実	ロボット教室
3	ケ	地域指導者による 体験学習の充実	米作り

#### 3 活動に要した経費

夢育やらまいか事業収支決算書のとおり

※収支決算書の写しに意見書に基づいて支出した「記号・事業内容・用途・小計」に赤の下線を加筆してください。